

バトル

1学期最終の週となりました。

1年生はビブリオバトルに取り組んでいました。ビブリオバトルとは、参加者がおすすめの本を紹介し合い、一番読みたくなった本を投票で決める書評ゲームです。「ビブリオ」は、ラテン語に由来する「書物」を意味する言葉で「バトル」は「戦う」を意味します。まずは4人組で対決。発表者（バトラーと言う）が2分の持ち時間でおすすめ本を紹介し、紹介が終わると2分間の質問タイムとなります。その後、参加者は5つの観点で評価していきます。



“5分後に意外な結末”というショートショート集、5分程度で読み終えることができ、意外な結末が待っているというのですから、大変興味をもちました。本屋大賞にノミネートされた“成瀬は信じた道を行く”、漱石著の有名小説“坊ちゃん”など紹介されている本は多岐にわたります。班で最高得点を取ったバトラーが代表戦に臨み、全員の前で発表しました。10月の清瀬ビブリオフォーラムを目指します!!



2年生の球技大会はクラス対抗ドッジボール大会です。これまたバトル!!運動の苦手な生徒でも



楽しめるよう2つの工夫があります。まず、キヨリンピックでお馴染み“スマイルボール”を使用するという。あたってもいたくありません。そして、時間が経つとボールの数が増えていくのです。最大5個のボールが同時にコート内を飛び交います。「取って、投げて、ぶつける」従来の要素だけでは勝つことができません。制限時間に自コートに、より多くの人が残っていれば勝ちなのです。逃げていただけの人がいても勝利に結びつきます。相手の死角になる場所など当たらない場とすることで得点に繋がります。得意な人が前面に出て投げようとしたら、違う角度からボール飛んできて当たったということもありました。策を講じれば、球技が苦手でも、勝利の要因となりうるのです。

1組は、食育です。本校栄養士よりトウモロコシについて解説があり、その後、恒例のトウモロコシの皮むき。一気におこうとすると、びくともしない。トウモロコシとのバトルです。闘モロコシとでも言



いましょうか。1組の皆がむいてくれたトウモロコシが食卓に並びました。

3年生は、二日間にわたり、都立高校の先生3名、私立高校の先生3名を講師に迎え、「高校の先生の話の聞く会」を催しました。講師の方々からは、公立と私立の違いや面接試験に対する取り組み方など話していただきました。面接における『ぎゅうどん』皆さんご存知ですか?「正しい直立の姿勢は、ギュと両肩を上げ、ウっとその両肩を後方に移動するように胸を張り、ドンと両肩を落とす。これで良い姿勢が出来上がります。」とても分かり易く、3年生があとに続き練習しました。明日から夏休み。3年生にとってみれば進路実現に向けての夏。かつては“受験戦争”と言われたバトルであり、皆さんはバトラーです。



『学問に王道なし』 学問には安易な道はなく、誰しも基礎から地道に習得していかなければならないということ。理屈を学び、語句を覚え、問題を解く、そして考える。いわばトラ ディシヨナルな方法しか学力向上に道はありません。5分後に意外な結末 など奇跡はあり得ないので。すから。